

教科名	芸術	科目名	音楽 I	学年	1年	単位数	2
準教科書			副教材				

## 1 担当者からのメッセージ

高校の音楽は「芸術」という教科の中で「音楽」を選んだ人だけしか授業がありません。授業の内容は《歌唱》《器楽》《創作》《鑑賞》をバランスよく取り入れて展開します。

縁あって出会うみなさん、1年間楽しく音楽と触れ合ってください！

## 2 学習の到達目標

曲の軸となるテーマが、音楽の構造・歌詞・曲の背景とどのように関わっているか理解できる。(知識・技能)

自分のイメージをもって表現を工夫したり、音楽のよさなどを味わって聴くことができる。(思考・判断・表現)

積極的に動いたり、仲間と協力したりしながら様々な音楽活動に取り組むことができる。(主体的に学習する態度)

## 3 学習計画

		単元名 (学習項目)	学習内容 (ねらい)
前期	前期 中間	校歌《歌唱》 リズム演奏《器楽》 ヴォイスリズム創作《創作》 リズムに特徴のある楽曲 《鑑賞》	・校歌の曲想と、歌詞の関わりを理解し、イメージをもって表現する。 ・身近な物でリズムを打ち、音符や楽譜への表し方を理解する。 ・言葉のもつリズムやイントネーションを生かし、イメージをもって作品づくりを工夫する。 ・リズムの形や複数のリズムの絡み合い、重なり合いを味わう。
	前期 期末	少年時代、ていんさぐぬ花 《歌唱》 ボディパーカッション、三線 《器楽》 日本音楽《鑑賞》	・曲想と、歌詞や沖縄の音階の関わりを理解し、イメージをもって表現する。 ・リズムやパートの数など形態の違いによる特徴を理解し、イメージをもって表現する。 ・音楽の特徴と歴史的背景の関わりを理解し、よさを味わって聴く。
後期	後期 中間	ギター《器楽》 メロディー作り①《創作》 楽器の音色《鑑賞》	・曲想と、音楽の構造の関わりを理解し、イメージをもって表現する。 ・指定された音を使い、イメージをもって作品づくりを工夫する。 ・ギターの奏法と音楽の構造の関わりを理解し、音色を味わう。
	学年 末	季節の歌《歌唱》 メロディー作り②《創作》 西洋音楽《鑑賞》	・これまでの学習を生かし、イメージをもって表現する。 ・音階の特徴を生かし、イメージをもって作品づくりを工夫する。 ・曲想や楽器の編成と、音楽の構造の関わりを理解し、美しさを味わう。

## 4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な体の使い方、楽器の扱い方を理解し表現に繋げることができる。	意図をもって音で表現したり、曲想を感じ取ったりすることができる。	表現をする活動や鑑賞の活動に意欲的に参加できる。

## 5 評価方法

計70時間 ( 50分授業)

音楽を含む芸術科目は、定期考査がありません。その分、授業の中で“こういう表現をしたい”という思いをもって音を出す事、音楽を聴き自分の意見をもつことが大切です。また単元の終わりに発表会や筆記のミニテストを実施し、学習したことが身に付いているか確認します。

知識・技能…35% 思考・判断・表現…35% 主体的に学習に取り組む態度…30%